

科目区分	専門教育科目	科目名	特別な教育的ニーズの理解とその支援		科目コード	22Y304	担当者	荒木 正平				
対象学生	幼児教育学科 2年生		学期区分	前期	単位数	2	担当形態	単独				
			授業形態	演習								
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	必修				
教育の基礎的理解に関する科目			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解				免許・資格要件	幼稚園教諭必修、保育士必修				
科目の主題							学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
特別な支援の必要性や教育・保育的ニーズのある子どもが、生きる力を身に付けていけることができるよう、学習上または生活上の困難を理解し、個別的教育・保育的ニーズに対して、関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。							1. 「 良心 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標							① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現力・創造力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	特別の支援を必要とする子どもの心身の発達、心理的特性及び学習の過程を理解する。											
2.	障がいのある子どもの学習上または生活上の困難について基礎的な知識を身に付ける。											
3.	特別の支援を必要とする子どもに対する支援の方法について例示することができる。											
4.	個別の指導計画及び個別的教育支援計画を作成する意義と方法を理解する。						○	◎	○	○	◎	△
5.	特別な教育的ニーズのある子どもの支援において、関係機関との連携の必要性を理解する。						成績評価の方法と割合					
授業方法							定期試験（50%） 提出物（20%） 発表内容（20%） 受講態度（10%）					
講義を基本とするが、障がい及び特別の支援を必要とする子どもの理解に関しては、映像の視聴等を通して具体的な理解に努めたい。また、援助や指導の方法についても、映像の活用やグループ協議・演習等を通してより実践的な構成としたい。												
課題等への対応							授業外学修時間					
毎時、プリントを提出させ内容を評価し返却する。評価の概要については、次授業の冒頭に総合的に行き重点事項については説明を加える。							授業前後に60分程度の予復習を期待したい。					
回数	授業計画						学習課題（予習・復習）					
第1回	オリエンテーション、特別の支援を必要とする子どもの理解						障がいについての予習・復習					
第2回	障がい児教育・保育の歴史、その理念と形態						障がい児教育・保育、インクルーシブ教育・保育についての予習・復習					
第3回	発達の理解、障がいの原因的理解						子どもの発達と、先天性障がいについての予習・復習					
第4回	障がいの理解（自閉症スペクトラム、ADHD、LD）						ASD児、ADHD児、LD児のかかり方についてレポートにまとめる					
第5回	障がいの理解（知的障がい）						知的障がい児についての予習・復習					
第6回	障がいの理解（身体障がい）						身体障がい児についての予習・復習					
第7回	障がいの理解（コミュニケーション障がい）						コミュニケーション障がい児についての予習・復習					
第8回	障がいの理解（脳性まひ）						脳性まひ児についての予習・復習					
第9回	気になる子どもの理解、てんかんのある子どもの理解						気になる子ども、てんかんのある子どもについての予習・復習					
第10回	障がいの理解（視覚障がい、聴覚障がい）						視覚障がい児、聴覚障がい児についての予習・復習					
第11回	特別の支援を必要とする子どもの教育・保育の方法						障がい児の教育・保育についての予習・復習					
第12回	特別の支援を必要とする子どもの教育・保育の計画						障がい児の教育・保育計画についての予習・復習、個別指導計画の作成					
第13回	特別の支援を必要とする子どもの教育・保育の実践と評価						障がい児の教育・保育の実践・評価の予習・復習					
第14回	特別の支援を必要とする子どもの保護者支援						障がい児の保護者支援についての予習・復習					
第15回	特別の支援を必要とする子どもの教育・保育の意義（まとめ）						インクルーシブ教育・保育の意義についてレポートにまとめる					
試験	定期試験を実施する											
教科書	新・障害のある子どもの保育 [著者]伊藤健次 [出版社]みらい						受講生へのメッセージ インクルーシブ教育・保育の進展に伴い、特別の支援を必要とする子どもへの支援・指導の充実が求められています。障がいについての基本的理解や技能を身に付けると共に、対象の子どもの実態を的確に把握し、教育・保育ニーズに沿った支援、指導を保護者や関係機関と連携しながら計画的に行っていくことが大切です。意欲的に学び、「一人ひとりを大事にする」信頼される保育者を目指してください。					
参考書等	『幼稚園教育要領』 『保育所保育指針』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』											